

第2学年 学級活動指導案

1 題材 時間を守る

2 題材設定の理由

題材観

本題材は、学級活動の内容(2)の中の基本的な生活習慣を身に付ける指導項目を扱い、その現状から解決策を考えさせる。中でも学校生活において「時間を守る」という生活習慣は、児童一人一人の生活習慣を育てる上において重要であり、集団生活を行う上においても重要である。時間を守ろうとする規範意識は、常に自己規律にかかわる問題と関連し、集団規律にかかわる問題にも関連している。そこで、個と集団へ及ぶ影響や問題点について再確認を行い、解決策を話し合うことが必要となる。この活動を通して、時間に対する規範意識の向上を期待したい。また、決定したことを自ら進んで行い、みんなと一緒に実践する活動は、自主的態度をはぐくみ生活習慣の定着化を図る取り組みであると考え、本題材を設定した。

児童観

子どもたちは、小学校生活にも慣れ、元気に明るく活発に毎日を過ごしている。子どもたちの生活の様子を見てみると、学校生活に慣れた反面、時間を守ろうとする態度が4月当初に比べると下降気味である。

例えば、授業が始まっているのに着席していなかったり、掃除の始まりに遅れたりすることで他の友だちに迷惑をかけてしまうなど問題が見られるようになってきた。

しかし、全校で取り組んでいる「ノーチャイム」の日には、時計を意識して行動する姿も見られる。時間を守らないと人に迷惑をかけるということは分かっているが、その大切さについては、まだ十分に理解出来ていない児童がいる。

指導観

指導にあたっては、導入で事前の調査をもとに自分自身の生活を振り返らせ、時間を守らなかったことで友だちに迷惑をかけた体験や、逆に友だちに迷惑をかけられた体験を発表させる。また、調査しておいた生活の実態はグラフに表し、個人の振り返りだけでなく学級として守れているか視覚的に捉えさせる。次に、その原因となることを具体的な生活場面から考えていく。「なぜ時間に遅れたのか」「どうしてチャイムの合図で席に着くことができないのか」など具体的な場面を想起させ考えさせる。それによって「どうしたら時間を守ることができるのか」ということについて解決策を考えることが出来るであろう。「時間を守る」ということの実態について、よく守っているが15%、だいたい守っているが70%、あまり守っていないが11%、ぜんぜん守っていないが4%いた。事前の調査からも自己評価では、8割以上の児童がだいたい守っていると答えている。従って、話し合う場面ではより切実感をもたせながら解決策を考えさせるため、アンケート調査を提示して学級の実態から問題解決を図り、みんなで学級を良くしていくという気持ちをもたせながら話し合いを行いたい。尚、時間の大切さについては、道徳等関連させてさらに学ばせていきたい。

3 指導計画

- 事前指導 - 帰りの会：アンケート調査実施
- 本時 - 学級活動：時間を守る
- 事後指導 - 帰りの会：実践カードによる振り返り

4 本時の目標

- (1) 時間の大切さを理解し，どうすれば守ることができるか話し合うことができる。
- (2) 時間を守るための自分のめあてを決定し，実践化への意欲をもつことができる。

5 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 評価
<p>1 これまでの生活を振り返り時間を守らず友だちに迷惑をかけたことやかけられたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食を時間内に食べてもらえず片付けができなかった。 ・ 集団登校の時間に集まらず，待たされた。 <p>2 本時のめあてを知る。</p>	<p>事前に学校生活を振り返り，個人で反省したものをグラフにすることで学級の実態を視覚的に把握させ問題点を見つめさせる。</p> <p>普段の生活を振り返らせることで，時間を守らないことは，他の人に迷惑をかけているということに気付かせるようにする。</p> <p>アンケートを基に意図的に指名する。</p>
<p>みんなで時間を守るためには，どうしたらいいか考えよう。</p>	
<p>3 なぜ時間を守れないのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おしゃべりをして食べているから給食が遅くなる。 ・ 朝起きるのが遅くなり集団登校に遅刻してしまう。 ・ いつまでも遊びに夢中になり授業の始まりに遅れる。 <p>4 どのようにしたら時間を守ることができるのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の時間の準備をしてから遊びに行く。 ・ 早寝早起きをする。 ・ 学級の時間の見張り番「ちくたくたっくん」の時間を係が表示する。 ・ 友だち同士声を掛け合う。 ・ 毎日帰りの会でチェックする。 ・ カードを作成する。 	<p>時間が守れないのはなぜか，また，どういう状況の時に時間を守れないのか具体的な場面を思い出させながら考えさせるために，問題となる場面の写真を提示をする。</p> <p>時間を守れない子に対して厳しい意見が出ることも考えられるので，守れる子，守れない子のどちらの意見も取り上げみんなで良くなるための意見を出させるようにする。</p> <p>個人のことだけでなく，学級みんなが時間を守っていくための必要な方法をワークシートに書かせて話し合わせる。</p> <p>時間を守るということは，集団生活を送る上で大切なことで，守れないと人に迷惑をかけるということをもう一度確認し，方法を考えさせる。</p> <p>カードについて意見が出ない場合は，教師の方からアイデアを出す。1週間程度区切って取り組ませる。</p> <p>全校で取り組んでいるノーチャイムウィークについては，これまでの取り組みで良くなったことなどを紹介し，意欲化を図る。</p> <p>時間を守る方法について考え，話し合うことができたか。</p> <p>(発言内容，ワークシート)</p>
<p>5 自分の生活を振り返り「時間を守ること」について思ったことや感じたことを書き，意欲をもつ。</p>	<p>実践カードに自分のめあてを決めて書かせその決めたことを1週間取り組ませる。</p> <p>時間を守るための自分のめあてを考えることができたか。</p> <p>(発言内容，ワークシート，実践カード)</p> <p>家庭にも連絡し頑張り週間だけでなく，習慣化されるよう，日常指導に心掛ける。</p>